



バドミントンを通じた地域・社会への貢献

日本ユニシス実業団バドミントン部は、国内トップチームとしての活躍にとどまらず、バドミントンを通じた国際交流や次世代の育成に貢献しています。

日越親善バドミントン・チャリティマッチ

2007年6月にベトナム・ハノイ市において、USOLベトナム（日本ユニシスグループの海外ソフトウェア開発センター）設立1周年を記念し、日本とベトナムの友好関係促進やハノイ市での地域貢献を目的とした『日越親善バドミントン・チャリティマッチ「ベトナムナショナルチーム vs 日本ユニシスチーム」』が開催され、1,500人近くの市民が観戦しました。

本大会での収益金は、すべて「National Fund for Vietnamese Children」に寄付され、ベトナムの恵まれない子どもたちの教育機会支援のために活用されます。



日越親善バドミントン・チャリティマッチ

地域バドミントン講習会の開催

日本ユニシス実業団バドミントン部では、さまざまな地域において学校・団体を対象としたバドミントン講習会を開いています。2007年度は、日本ユニシス本社が所在する東京都江東区のほか、群馬県、新潟県など全国7カ所において開催しました。



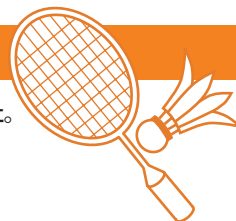
バドミントン講習会

女子バドミントン部を創設

日本ユニシスは、2007年7月に実業団女子バドミントン部を創設しました。創部にあたっては、国内トップレベルの実業団チームとしては初となる女性監督を起用し、コーチやスタッフ陣についても女性中心の編成を行うなど、女性の活躍推進のシンボリック存在となるチームをめざしています。

オリンピック代表選手からのメッセージ

日本ユニシスバドミントン部・男子ダブルス坂本修一・池田信太郎組の北京オリンピック出場が決定しました。日本ユニシスからはシドニー、アテネの男子シングルス・山田英孝に続き3大会連続、男子ダブルスとしては初のオリンピック出場となります。



坂本 修一 選手

池田 信太郎 選手

坂本選手

池田選手とペアを組んで3年になりますが、お互いかけがえない存在となっています。オリンピックは厳しい試合になると思いますが、これまで支えてきてくださった周りの方たちの期待に応えるためにも結果を残したいと思っています。バドミントン部の活動で、中高生のバドミントン講習会に参加していますが、自分自身、初心に帰り、人とのつながりを感じる大切な機会となっています。これからも若い人たちに、スポーツを通して楽しい気持ちになれること、幸せになれることを伝えていきたいと思っています。

池田選手

バドミントンは物心がつく前からずっと続けていて、自分にとっては“生活の軸”であり、中途半端で終わりにたくない、後悔しないようやれるだけやりたいという気持ちが強くあります。自分自身、バドミントンを通じて、人として大切なこともたくさん学んできましたので、子どもたちにもバドミントンやスポーツを通じてどんどん視野を広げていって欲しいと思います。

オリンピック出場は、うれしい反面、プレッシャーも大きいのですが、メダルを意識せず、目の前の一戦一戦に集中して戦っていきたくと思っています。みなさん、応援よろしくお願いします！

